



地域学校協働活動だより

令和7年11月13日発行 福島県教育庁県北教育事務所

大玉村「5歳児健診」での「サイコロトーク」

サイコロふって、子育てフキトーク！



11月5日(水)に、大玉村保健センターで「5歳児健診」が行われました。「5歳児健診」は保健センターで行っている事業ですが、保健センターと連携・協力し、健診に来た保護者を対象に、大玉村家庭教育支援チームによる、活動紹介と「サイコロトーク」が行われました。

「サイコロトーク」では、自身のことや子育てについて、参加者が順番にサイコロをふって話題を決めながら、楽しく会話を進めていました。子育てについて気軽に話し合いながら、仲間作りのきっかけにもなっているようです。

支援チームの 活動内容を 保護者に周知！

何か心配事や知りたいことがある時は、相談用の QR コードからどうぞ！



支援チームの思い

今の保護者は村外の方も多いので、横のつながりをはやく作ってほしいという思いで活動をしています。

支援チームがどんな人か分かったと保護者も安心です！



大玉村に来てびっくりしたこと

小学校入学で一番心配していること



自分が今一番
したいこと

家庭教育支援コーディネーターが中心となって「サイコロトーク」を進めながら、チーム員の方も一緒に保護者の話を聴き、保護者の気持ちに寄り添ったり、共感したりしていました。



会場入口では「おゆずり会」が行われていました。参加した子どもたちに合わせた絵本や、おもちゃ、洋服などが準備されており、子どもたちも嬉しそうでした。

大玉村家庭教育支援チームは、令和3年12月からスタートしました。最初は、健診の時に外でチラシを配らせてもらうことから始めて、今では子育て相談等も保健課と連携して行っています。子育てや家庭教育支援を効果的にいき、地域全体で子どもや家庭を見守り育てるためには、教育分野や福祉分野をはじめ、様々な関連分野がそれぞれの特徴をいかながら、相談体制の充実や居場所づくり等の取組を進めることが大切ですね！